



前号に引き続き、本年度の学校経営の3つの重点的取組についてお知らせ致します。今回は、3つ目の取組「教師の働き方改革（業務改善）の推進」についてです。

### 本年度の3つ目の重点的取組

#### ③教師の働き方改革（業務改善）の推進

- 教師の業務の改善により、教師が子どもに向き合う時間の確保、教師の元気・活力の高揚、毎日の授業の質の向上などを図り、よりよい教育活動に邁進できる環境を整えること。

今、社会全体で働き方改革が進められていますが、学校の働き方改革は特に、待ったなしの状況です。教師の多忙さを敬遠し、教師を目指す若者が減っています。そのことが、全国的な教師不足という問題になっていることは、テレビや新聞でよく報道されておりますので、ご存じかと思えます。以下の資料は、以前、文部科学省より出されたメッセージの一部です。

一人一人の子どもたちと丁寧に向き合いたいという思いから、毎日時間に追われて働いているため、先生は他の職業に比べてストレスが高いというデータもあります。「そのくらいなら、自分の方が働いている!」「忙しいのは先生だけみたいなこと言わないで!」。皆さまから、そんな声が聞こえてくるかもしれません。ですが、働き方改革が必要なのは先生を楽にするためではありません。学校が、子どもたちの未来に直結する場所だからです。

御存じのとおり、これから大きく社会が変わろうとしています。今でもパソコンやスマホ、外国人との仕事や交流など、私たちが子どもだったときとは、取り巻く環境が違ってきています。学校は、子どもたち一人一人がそんな未来をたくましく生き抜く力を身に付ける場所ではなくてはなりません。

きちんと文章が理解できる力、答えのない問題に対して、自分で考え、仲間と協力して取り組む力、知らない人に自分の意見を正確に伝える力、そして英語やプログラミングなど、しっかり子どもたちに身に付けさせなくてはなりません。

学校の働き方改革は、これまでの先生の働き方を見直し、毎日元気に子どもたちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要なものです。先生には、授業やその準備をはじめとした先生にしかできない教育活動に全力投球していただきましょう。・・・(略)・・・

地域全体で子どもたちによりよい教育環境を実現するため、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、それぞれ何ができるかを考え、連携・分担することが重要です。・・・(略)・・・

未来を担うのは子どもたちです。子どもたちのために我々みんなを取り組んでまいります。子どもたちの教育をますます良くする、そのための学校の働き方改革にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

2019年3月18日 文部科学大臣より

実際に、平野小学校では、以下のような取組を進めてきております。ご理解頂き、今後も学校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

#### 学校における働き方改革（業務改善）の具体的取組の一部

- ・電話対応時刻を、7:30～18:30とします。【大野城市立小学校統一】  
(ちなみに、教職員の勤務時間は、8:15～16:45です。)
- ・毎週、木曜日を定時退校日とします。そのため、木曜日は、16:45以降、職員不在となり、誰も電話に出ない場合があります。
- ・8月のお盆の時期や年末年始に、学校閉庁日を設けます。学校閉庁日には、学校には誰もいません。  
(以前は、代表者が輪番で勤務をしておりました。)【大野城市立小中学校統一】
- ・ICTや校務運営システムを積極的に活用します。【大野城市立小中学校統一】
- ・昨年度から、通知表における所見の記入回数を削減しました。そのため、個人懇談会等において、具体的な様子を口頭や資料を用いて、より丁寧に説明致します。【大野城市立小学校統一】
- ・週時制を変更し、毎週、木曜日・金曜日は、1～5時間目を午前中に、6時間目を午後を実施することで、子どもの下校する時刻が以前より早くなりました。教師の放課後の授業準備等の時間を、しっかり確保するためです。
- ・本年度より、教室環境整備を簡略化しております。具体的には、教室前面には何も掲示しません(発達課題のあるお子さまは、このことで板書に集中しやすくなります)。また、教室背面に、児童の作品(絵画・習字等)も掲示しません(高い棚にのぼってはり替えをすることによる教師の落下事故を防ぐ意味もあります)。それにかわり、授業の中でのお互いの作品を鑑賞し合う時間を大切にしたり、タブレットに写真で作品の記録を残したり、作品集をファイル等に整備したりなどの手立てを工夫していきます。

等